



アラートの使用

この章は、次の項で構成されています。

- [アラートの使用 \(P.7-1\)](#)
- [アラート プロパティの設定 \(P.7-3\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager ノードまたはクラスタのアラートの一時停止 \(P.7-6\)](#)
- [アラート通知用電子メールの設定 \(P.7-7\)](#)
- [アラート アクションの設定 \(P.7-7\)](#)

アラートの使用

次の手順を実行して、[Alert Central] へのアクセス、アラート情報のソート、アラートの有効化、無効化、削除、アラートのクリア、アラートの詳細の表示などのタスクを実行できます。

手順

ステップ 1 次のいずれかのタスクを実行します。

- Quick Launch Channel で
 - [System] をクリックします。
 - ツリー階層で、[Tools] をダブルクリックします。
 - [Alert Central] アイコンをクリックします。
- [System] > [Tools] > [Alert] > [Alert Central] を選択します。

生成されたアラートのステータスと履歴を示す [Alert Central] モニタリング ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 次のいずれかのタスクを実行します。

- アラートのプロパティを設定するには、[P.7-3 の「アラート プロパティの設定」](#)を参照してください。
- Cisco Unified Communications Manager ノードのアラートを一時停止するには、[P.7-6 の「Cisco Unified Communications Manager ノードまたはクラスタのアラートの一時停止」](#)を参照してください。
- アラート通知用の電子メールを設定するには、[P.7-7 の「アラート通知用電子メールの設定」](#)を参照してください。
- アラート アクションを設定するには、[P.7-7 の「アラートアクションの設定」](#)を参照してください。

- アラート ステータス ペイン内のアラート情報をソートするには、列見出しの上向き矢印または下向き矢印をクリックします。たとえば、[Enabled] 列や [In Safe Range] 列に表示される上向き矢印または下向きの矢印をクリックします。

アラート履歴情報をソートするには、[Alert History] ペインの列の上向き矢印または下向き矢印をクリックします。ペインに表示されていないアラート履歴を表示するには、[Alert History] ペインの右側にあるスクロールバーを使用します。

- アラートを有効にする、無効にする、または削除するには、次のいずれかのタスクを実行します。
 - アラート ステータス ウィンドウでアラートを右クリックし、目的の操作に応じて、[Disable/Enable Alert] (オプション トグル) または [Remove Alert] を選択します。
 - アラート ステータス ウィンドウでアラートを強調表示し、[System] > [Tools] > [Alert] > [Disable/Enable Alert] (または [Remove Alert]) を選択します。



ヒント

ユーザ定義のアラートに限り、RTMT から削除できます。あらかじめ設定されているアラートを選択すると、[Remove Alert] オプションがグレー表示されます。

- アラートを解決した後に、アラートを個別に、またはまとめてクリアするには、次のいずれかのタスクを実行します。
 - アラート ステータス ウィンドウが表示されたら、アラートを右クリックし、[Clear Alert] (または [Clear All Alerts]) を選択します。
 - アラート ステータス ウィンドウでアラートを強調表示し、[System] > [Tools] > [Alert] > [Clear Alert] (または [Clear All Alerts]) を選択します。
 アラートをクリアすると、アラートの色が赤から黒に変わります。
- アラートの詳細を表示するには、次のいずれかのタスクを実行します。
 - アラート ステータス ウィンドウが表示されたら、アラートを右クリックし、[Alert Details] を選択します。
 - アラート ステータス ウィンドウでアラートを強調表示し、[System] > [Tools] > [Alert] > [Alert Details] を選択します。



ヒント

アラートの詳細を確認したら、[OK] をクリックします。

追加情報

P.7-8 の「関連項目」を参照してください。

アラート プロパティの設定

アラート プロパティを設定する手順は次のとおりです。

手順

ステップ 1 P.7-1 の「アラートの使用」の説明に従って、[Alert Central] を表示します。

ステップ 2 アラート ステータス ウィンドウで、アラート プロパティを設定するアラートをクリックします。

ステップ 3 次のいずれかのタスクを実行します。

- アラートを右クリックし、[Set Alert/Properties] を選択します。
- [System] > [Tools] > [Alert] > [Set Alert/Properties] を選択します。



(注) Cisco Unified Communications Manager クラスタ全体のアラートの場合は、[Alert Properties] ウィンドウに [Enable/Disable this alert on following server(s):] ボックスが表示されません。クラスタ全体のアラートには、登録済みの電話機の数、ゲートウェイの数、メディア デバイスの数、使用されているルート リスト、使用されているメディア リスト、稼働していない MGCP D チャネル、悪意のあるコールのトレース、および限度を超えている品質レポートが含まれます。

ステップ 4 アラートを使用可能にするには、[Enable Alert] チェックボックスをオンにします。

ステップ 5 [Severity] ドロップダウン リスト ボックスから、アラートのシビラティを選択します。

ステップ 6 [Enable/Disable this alert on following server(s)] ペインで、このアラートを使用可能にするサーバの [Enable] チェックボックスをオンにします。

あらかじめ設定されているアラートについては、[Description] 情報ペインにアラートの説明が表示されます。

ステップ 7 [Next] をクリックします。

ステップ 8 [Threshold] ペインに、システムがアラートをトリガーする条件を入力します。

ステップ 9 [Duration] ペインで、次のいずれかのオプション ボタンをクリックします。

- Trigger alert only when below or over.... : 値が特定の秒数にわたって常にしきい値を下回るまたは上回る場合に限り、アラートがトリガーされます。秒数を入力します。
- Trigger alert immediately : アラートがすぐにトリガーされます。

ステップ 10 [Next] をクリックします。

ステップ 11 [Frequency] ペインで、次のいずれかのオプション ボタンをクリックします。

- Trigger alert on every poll : ポーリングのたびにアラートがトリガーされます。
- Trigger up to <回数> of alerts within <時間> of minutes : 特定の時間 (分単位) の間に、特定の回数のアラートがトリガーされます。アラートの回数と時間 (分単位) を入力します。

■ アラートプロパティの設定

ステップ 12 [Schedule] ペインで、次のいずれかのオプション ボタンをクリックします。

- 24-hours daily : アラートが 1 日 24 時間トリガーされます。
- Start time/Stop time : 特定の開始時刻と終了時刻の間のみアラートがトリガーされます。開始時刻と終了時刻を入力します。

ステップ 13 [Next] をクリックします。

ステップ 14 このアラートの電子メールを使用可能にする場合は、[Enable Email] チェックボックスをオンにします。

ステップ 15 このアラートでアラート アクションをトリガーするには、ドロップダウン リスト ボックスから、送信するアラート アクションを選択します。

ステップ 16 新しいアラート アクションを設定、または既存のアラート アクションを編集するには、[Configure] をクリックします。

ステップ 17 新しいアラート アクションを追加するには、[ステップ 18](#)に進みます。既存のアラート アクションを編集するには、[ステップ 25](#)に進みます。

ステップ 18 [Add] をクリックします。

ステップ 19 [Name] フィールドに、アラート アクションの名前を入力します。

ステップ 20 [Description] フィールドに、アラート アクションの説明を入力します。

ステップ 21 電子メール受信者を追加するには、[Add] をクリックします。

ステップ 22 [Enter email/epage address] フィールドに、アラート アクションの受信者の電子メールまたは電子ページのアドレスを入力します。

ステップ 23 [OK] をクリックします。

[Action Configuration] ウィンドウに、追加した受信者が表示され、[Enable] チェックボックスがオンになります。



ヒント 電子メールの受信者を削除するには、その受信者を強調表示し、[Delete] をクリックします。選択した受信者が、受信者リストから削除されます。

ステップ 24 すべての受信者を追加したら、[OK] をクリックします。[ステップ 27](#)に進みます。

ステップ 25 既存のアラート アクションを編集するには、アラート アクションを強調表示し、[Edit] をクリックします。

選択したアラート アクションの [Action Configuration] ウィンドウが表示されます。

ステップ 26 設定を更新して、[OK] をクリックします。[ステップ 27](#)に進みます。

ステップ 27 アラート アクションの設定を終了したら、[Close] をクリックします。

ステップ 28 トレース ダウンロードが許可されていないアラートの場合は、[Alert Properties : Email Notification] ウィンドウで **[Activate]** をクリックします。

CriticalServiceDown や CodeYellow のようにトレース ダウンロードが許可されているアラートの場合は、次の手順を実行します。

- a. **[Next]** をクリックします。
- b. [Alert Properties : Trace Download] ウィンドウで、**[Enable Trace Download]** チェックボックスをオンにします。
- c. [SFTP Parameters Dialog] ウィンドウが表示されます。IP アドレス、ユーザ名、パスワード、ポート、およびトレースを保存するためのダウンロードディレクトリパスを入力します。SFTP サーバとの接続性を確認するには、**[Test Connection]** をクリックします。接続テストに失敗した場合、設定は保存されません。
- d. **[OK]** をクリックして、設定を保存します。
- e. [Trace Download Parameters] ウィンドウに、ダウンロードの回数と頻度を入力します。ダウンロードの回数と頻度を設定すると、ダウンロードされるトレース ファイルを制限するのに役立ちます。ポーリングの設定が、頻度のデフォルト設定の基準となります。

**注意**

トレース ダウンロードを有効にすると、サーバのサービスに影響する場合があります。多数のダウンロードを設定すると、サーバのサービス品質に悪影響が出ます。

**(注)**

アラートアクションを削除するには、そのアクションを強調表示し、**[Delete]** をクリックして、**[Close]** をクリックします。

追加情報

P.7-8 の「[関連項目](#)」を参照してください。

Cisco Unified Communications Manager ノードまたはクラスタのアラートの一時停止

特定の Cisco Unified Communications Manager ノードまたはクラスタ全体で、一部のアラートまたはすべてのアラートを一時的に停止する必要がある場合があります。たとえば、Cisco Unified Communications Manager を新しいリリースにアップグレードする場合、アップグレードが完了するまですべてのアラートを一時停止する必要があります。アラートを一時停止することにより、アップグレード中に電子メールや電子ページを受信しなくなります。[Alert Central] でアラートを一時停止する手順は次のとおりです。

手順

ステップ 1 [System] > [Tools] > [Alert] > [Suspend cluster/node Alerts] を選択します。



(注) サーバごとの一時停止状況は、Cisco Unified Communications Manager クラスタ全体のアラートには適用されません。

ステップ 2 クラスタ内のすべてのアラートを一時停止するには、[Cluster Wide] オプション ボタンを選択し、[suspend all alerts] チェックボックスをオンにします。

ステップ 3 サーバごとにアラートを一時停止するには、[Per Server] オプション ボタンを選択し、アラートを一時停止するサーバの [Suspend] チェックボックスをオンにします。

ステップ 4 [OK] をクリックします。



(注) アラートを再開するには、再び [Alert] > [Suspend cluster/node Alerts] を選択し、[Suspend] チェックボックスをオフにします。

追加情報

P.7-8 の「[関連項目](#)」を参照してください。

アラート通知用電子メールの設定

アラート通知用の電子メール情報を設定するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 [System] > [Tools] > [Alert] > [Config Email Server] を選択します。

[Mail Server Configuration] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [Mail Server] フィールドに、電子メール受信者の情報を入力します。

ステップ 3 [Port] フィールドに、メール サーバのポート番号を入力します。

ステップ 4 [OK] をクリックします。

追加情報

P.7-8 の「[関連項目](#)」を参照してください。

アラート アクションの設定

新しいアラート アクションを設定する手順は次のとおりです。

手順

ステップ 1 P.7-1 の「[アラートの使用](#)」の説明に従って、[Alert Central] を表示します。

ステップ 2 [Alert] > [Config Alert Action] を選択します。

ステップ 3 P.7-3 の「[アラート プロパティの設定](#)」の [ステップ 17](#) ～ [ステップ 28](#) を実行して、アラート アクションを追加、編集、または削除します。

追加情報

P.7-8 の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

- [アラートの使用 \(P.7-1\)](#)
- [アラートプロパティの設定 \(P.7-3\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager ノードまたはクラスタのアラートの一時停止 \(P.7-6\)](#)
- [アラート通知用電子メールの設定 \(P.7-7\)](#)
- [アラートアクションの設定 \(P.7-7\)](#)
- [カウンタのアラート通知の設定 \(P.5-5\)](#)
- [アラート \(P.6-1\)](#)